

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
59	東京純心大学	小児看護学援助論	荻原 康子 看護学部 教授	2	後期		15		東京純心大学	5

#### 【到達目標】

1. 健康障害を持つ子どもと家族の特性について述べることができる。
2. 子どもにみられる疾患の病態、症状、診断、治療、予後に関する知識を統合し、患児に応じた看護について述べるができる。
3. 健康障害をもちながら成長・発達する「子どもの権利」について、医療を受ける上での擁護を具体的に述べるができる。
4. 障がいの受容と、医療的ケア児の課題、小児看護の役割と責務について説明することができる。
5. 障がいのある子どもの「療育」に関連する多職種、それぞれの役割をふまえたチームアプローチについて説明することができる。
6. 虐待を受けている子どもと家族の看護が説明できる。
7. 災害時の子どもと家族の看護が説明できる。

#### 【授業の概要】

この科目では、疾病・障害のある子どもと家族、および、さまざまな状況にある子どもと家族”に対する看護援助について学ぶ。学修内容は例えば、既に小児看護学概論で学んだ「子どもの権利の擁護」が、実際の看護援助において何をどう実践することなのかという疑問と関心を持てるよう、わかりやすく看護の視点での疾患や状況について講義を行う。病態や症状について知識を得て推論することが、根拠をもった看護につながることを理解ができるよう学修を進める。看護基礎教育における積極的な知識の積み重ねが、やがて出会う子どもに対する看護援助につながることを念頭に、子どもの疾患、障害、検査、治療について学修する。子どもは常に成長・発達する存在であり、いかなる健康段階にあっても、成長と発達への促しは必須である。「教育を受ける」「遊ぶ」といった、子ども特有の権利を行使できるよう、具体的な支援を学ぶ。また、小児期にみられやすい疾患は数多くあり、同じ疾患としても個人差は大きい。よって、”その子どもと家族”にとっての「最善の利益」が考えられるよう、これまでに得た知識を統合し看護援助に活かせるよう、柔軟に想起し思考できることを目指し学ぶ。

#### 【授業内容】

1. ●ガイダンス：
  - ・科目の概要 ・科目を学ぶ意義について
- 症状を示す子どもの看護①：
  - ・病期の始まり ・子どもにみられやすい症状と看護 ・家族のホームケアへの支援
  - ・病児保育について ・主要症状のケア（発熱・下痢・嘔吐・脱水）
2. ●症状を示す子どもの看護②：
  - ・主要症状のケア（痙攣・呼吸困難 ・出血）
3. ●検査・処置を受ける子どもの看護：
  - ・採血 ・採尿 ・骨髄穿刺 ・腰椎穿刺 ・与薬 ・注射 ・輸液療法 ・吸引
  - ・酸素療法 ・経管栄養
4. ●子どもの健康障害と看護① 染色体異常と先天異常への看護：
  - ・先天異常の種類と特徴 ・子どもの疾患に対する家族の受容
  - ・常染色体異常（ダウン症候群、ほか）、性染色体異常、胎芽病と胎児病
  - ・先天代謝異常症（フェニルケトン尿症、ほか） ・新生児マススクリーニング
5. ●子どもの健康障害と看護②新生児の看護：
  - ・低出生体重児 ・低出生体重児の疾患 ・新生児の疾患
6. ●子どもの健康障害と看護③ 代謝性疾患と看護：
  - ・1型糖尿病 ・慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療
  - ・発達に応じたセルフケア能力の獲得
7. ●子どもの健康障害と看護④免疫・アレルギー性疾患と看護：
  - ・免疫のしくみ（復習） ・気管支喘息 ・食物アレルギー
  - ・急性増悪の予防（コントロール）に向けたセルフケアと家族
  - ・小児慢性特定疾患治療研究事業
8. ●子どもの健康障害と看護⑤ 小児期にみられやすい感染症と看護：
  - ・ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、RSウイルス感染症、ロタウイルス感染症）
  - ・細菌感染症（溶血性レンサ球菌感染症、細菌性髄膜炎、結核）
  - ・隔離、感染予防、予防接種（小児期の接種スケジュール）
9. ●子どもの健康障害と看護⑥循環器疾患と看護：
  - ・ファロー四徴症 ・心室中隔欠損症 ・心房中隔欠損症 ・動脈管開存症
  - ・各病期の特徴（出生前診断、養育・日常生活管理、手術の前後、経過観察と検査
  - ・治療、成人期へのキャリアオーバー） ・川崎病
10. ●子どもの健康障害と看護⑦ 血液・造血器疾患と看護：
  - ・貧血、血友病、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血
11. ●子どもの健康障害と看護⑧悪性新生物と看護：
  - ・小児がん総論、白血病 ・中心静脈点滴 ・化学療法（骨髄抑制ほか副作用、晩期障害）
  - ・造血幹細胞移植
12. ●子どもの健康障害と看護⑨腎泌尿器疾患と看護：
  - ・腎不全および腎代替療法 ・糸球体疾患（糸球体腎炎、ネフローゼ症候群）
  - ・尿道下裂
13. ●さまざまな状況にある子どもと家族の看護
  - ①消化器・外科疾患をもつ子ども、手術を受ける子ども：
    - ・肥厚性幽門狭窄症 ・鎖肛 ・ヒルシュスプルング症 ・子どもの骨折
    - ・周手術期の看護（手術の種類、インフォームドアセント、プレパレーション、術前術後の看護、家族への説明、退院指導）
    - ・ストーマ、ギプス、装具に関するホームケア
14. ●さまざまな状況にある子どもと家族の看護②医療的ケアを要する子ども：
  - ・脳性麻痺 ・重症心身障がい ・超重症児 ・筋ジストロフィー ・二分脊椎症
  - ・医療的ケア児に関する法律と保育所学校等における看護職の役割とケアの実際
15. ●特殊な状況にある子どもと家族の看護、虐待を受けている子どもと家族への看護、災害時の子どもと家族への看護：
  - ・子どもの虐待の特徴、不適切な養育（マルトリートメント）について、発生へのリスク要因と発生予防、早期発見虐待のリスク要因、発生防止と早期発見、

児童虐待における看護

(概論の復習) ・身体的虐待のうちの熱傷、頭部外傷について

- ・災害による子どもへの影響とストレス
- ・災害時の子どもへの影響と家族の支援
- ・災害時における緊急度の把握とトリアージ

【成績評価方法】

課題：20%

定期試験：80%

【教科書】

- ・『小児看護学概論 小児臨床看護総論』小児看護学① 医学書院
- ・『小児臨床看護各論』小児看護学② 医学書院

【参考書、教材等】

- ・『ナースがみる人体』、『ナースがみる病気』 講談社
- ・『発達段階からみた小児看護過程 第3版+病態関連図』 医学書院
- ・『小児看護ケアマニュアル』 中山書店
- ・『疾患別小児看護 基礎知識・関連図と実践事例』 中央法規

他の参考文献は適宜紹介する

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。